

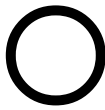
クロアワビ



- ・沿岸の岩礁域（メガイアワビより浅い）に生息し、主に外房地区で素潜りにより漁獲される。
 - ・4～5歳で制限殻長の12cm(230g前後)に達する。
 - ・アワビ類の産卵期は10月～翌年1月。
 - ・1968年から種苗放流が行われている。
 - ・2020年の主要地区※一般漁場における放流貝の混入率は、2～23%。
- ※ 漁獲物調査を実施している千倉2地区、鴨川1地区、勝浦1地区。

資源評価

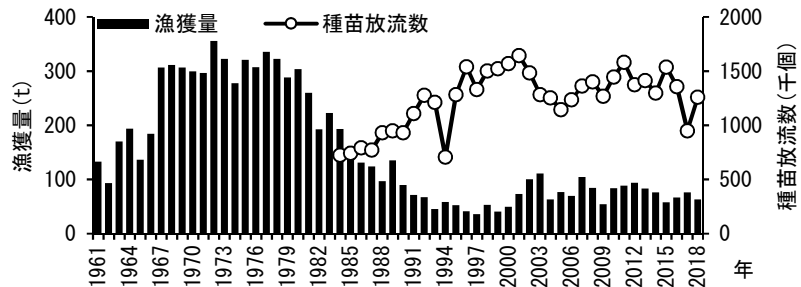
水準：中位



動向：横ばい



漁獲量



クロアワビ漁獲量及び種苗放流数の経年変化

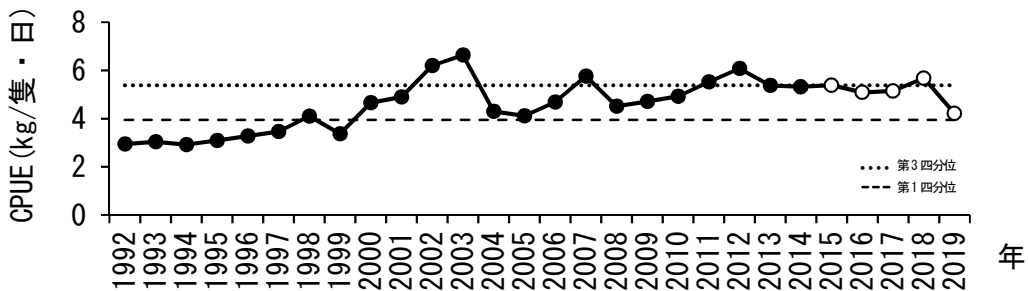
(漁獲量は千葉県調べ、種苗放流数は栽培漁業種苗生産、入手・放流実績(全国))

- ・最大は1972年の355t、最小は1997年の35t。
- ・2018年は63t。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・資源水準及び動向は主要地区一般漁場における素潜り漁業のCPUEで判断した。
- ・2019年の資源水準は過去28年間で中位、最近5年間の資源動向は横ばい傾向にある。



クロアワビ主要地区一般漁場素潜り漁業 CPUE の経年変化

資源管理の取り組み

- ・千葉県漁業調整規則で制限殻長(12cm以下のものは採捕してはならない)と禁漁期間(9/16～3/31)が定められている。
- ・漁法の制限、操業時間の制限、種苗放流、密漁対策、禁漁区、輪採漁場の導入及び稚貝保護区の設定等、漁業者による自主的な資源管理や増産活動が行われている。